

受講者様のお声

	<p>お名前：諏訪田 愛子 会社名：Signify Japan 合同会社 所属部署：GA and HR Specialist 役職：HR Specialist 人事歴： 3年</p> <p>受講されたプログラム SHRM エssenシャルズ (日本語)</p>
--	--

1) 受講された動機を教えてください。

当時、日系企業で人事をしていましたが、自身の業務内容がうまく言語化できずもどかしさを感じていました。

海外では「人事」が立派な専門職として地位を確立していることを知り、人事のフィールドでキャリア形成を図るため受講しました。

2) プログラム受講後のご感想をお聞かせください。

これまで漠然と認知していた事象を、まるで答え合わせをするかの様に論理的に具現化するプログラム内容で驚きました。目から鱗が落ちるかのごとく、受講後は視界がクリアになり、人事という仕事に自信が持てるようになりました。

今では SHRM Essentials ライセンスをパスポートの様に活用して外資系企業にて人事業務を担っています。

3) これから受講を考えている方にアドバイスをお願いします。

ライセンスの事を話すと組織で優秀な方や立場のある方々ほど、人事を学びたいとおっしゃいます。秀でた人材と証明できる資格でもあるのかもしれない。

キャリアを自分で形成する時代において、誰も教えてくれない人事を論理的に学ぶには大変優れた講座であったと、受講した今、確信しています。ご参考になれば幸いです。

受講者様のお声

	<p>お名前：高橋知史 会社名：(株)日立製作所 所属部署：人財統括本部グローバルHR トランスフォーメーションプロジェクト 役職：シニアプロジェクトマネージャー 人事歴：30年</p> <p>受講されたプログラム SHRM エssenシャルズ (日本語)</p>
---	--

1) 受講された動機を教えてください。

実務で携わっているグローバル人事の枠組みを体系的に学び、整理したかったため。

2) プログラム受講後のご感想をお聞かせください。

プログラム内容はグローバル人事のオーソドックな内容を網羅していたので体系的な学びになりました。加えて最新の米国のHRの動きもプログラムの学びの中で Update して頂いたことも有益な情報になったと思います。

受講者同士のディスカッションを通してお互いの取り組み事例や悩みも共有できたことはこのプログラムのもう一つのメリットでした。

3) これから受講を考えている方にアドバイスをお願いします。

グローバル人事の考え方を学びたい方にはお勧めのプログラムです。ただし受講料は安価ではないので、①事前にテキストを学び、プログラム中は議論

に集中することで実践的な知識を修得するようにすること、②受講後のテストをクリアして SHRM の資格を取得すること、ができれば投資するだけの価値はあると思います。

以上

受講者様のお声

	<p>お名前：村富 尚樹 会社名： Sumitomo Electric U.S.A. Holdings, Inc. 所属部署：Human Resources and Administration of the Americas 役職：HR Management Coordinator 人事歴： 14年 受講されたプログラム SHRM エssenシャルズ (バイリンガル)</p>
---	--

1) 受講された動機を教えてください。

現在米国ニューヨークで勤務しておりますが、米国の労働観、労働法は日本と異なる点が多く、赴任当初は人事の即戦力として十分な貢献ができず、ともすれば人事と言うよりも、本社との窓口として調整業務に追われがちの日々でした。しかし、この講座の存在を知り、これまでの断片的な人事知識や、失敗も含めた米国での経験を整理し直せる好機になると考えました。また、独学ではなく、プロによる直接指導を通じて最終的には公認資格を取得することで、米国の人事の中でも存在感を発揮したいと思い、受講を決めました。

2) プログラム受講後のご感想をお聞かせください。

バイリンガル講座では同じ研修内容を日本語と英語で学べるだけではなく、SHRMの履修内容から発展して、日米人事の違いにフォーカスした講義も聴くことができました。人事関連の適切な英語表現も学べて、実践で大いに役立ちました。さらには、講師の方が受講者全員の意見、相談に対しても、日米双方の観点から、ご自身の体験に基づくエピソードを織り交ぜて丁寧にコメント、アドバイスをくださったのが一番の魅力に感じました。

3) これから受講を考えている方にアドバイスをお願いします。

外国人と実際に仕事をしている方には、授業も教材も日英両方で学ぶことができるバイリンガル講座をお勧めします。SHRMのテキストを日本語で学べることに加え、それらに対するネイティブの視点も知ることができるためです。当面は、組織のマネジメントメンバーとして赴任した駐在員に対し、本講座を通じて学んだ内容を活かして、貢献することがミッションの一つと心得ていますが、更なる上級資格も目指していきたいです。ただ、本当は赴任前にこうした講座を受けてから着任すべきであったと思っています。